

行事報告  
『新園舎』

新園舎に引っ越して、早1ヶ月が経ちます。木の匂いがしていた保育室もクラスの生活の匂いがし始めて、面白いことに各保育室に入ったときの匂いが違います。

そら組横に、アトリエコーナーを作っています。この部屋は『モノづくり』をする部屋なので、そら組だけでなく、他クラスも自由に使い、その中で作ることの楽しさ・異年齢児の関わりを持ってたらないという思いで作ったものです。年齢を問わず、共有できる空間になればと感じます。

小さいクラスの子も見て分かるように、扱い方・使い方・用具の特性などを写真で掲示しているよ。



編み機やリリアンでマフラーづくり。冬支度がもう始まっているそら組です。

10月の予定

- 1日(金)～11日(月) 個別懇談
- 15日(金) 健脚活動
- 18日・19日 入園前園公開(外部)
- 23日(土) 運動会(にじ～そら組)
- 26日(火) 避難訓練
- 28日(木) 誕生会
- 29日(金) 熊山登山(そら組) 中止

11月の予定

- 2日(火) そら組デイキャンプ
- 5日(金) ほし組お出かけ保育
- 12日(金) 健脚活動
- 18日(木) 歯科検診
- 19日(金) 誕生会

あすなろ オリンピック ～今日のベストショット～

7ヤキの下でゆったり外時間(中庭)

はな組

お気に入りのままごとハウス

つき組

かけっこもできちゃう広い2階テラス

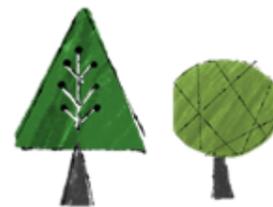
ほし組(たんぽぽ)

ほし組(れんげ)

できるかな?～なべなべそこぬけ～

そら組

衣装を作って気分はお姫様(INアトリエ)



あすなろっこ



492号

令和3年10月1日発行

社会福祉法人岡山こども協会 あすなろ保育園  
〒709-0802  
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19  
TEL (086) 955-5665



QRコードもご利用ください。

<https://asunaro.okayamakodomokyokai.jp>

検索

『ピンチはチャンス』

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない中、園ではそんな事を忘れるくらい無邪気な子どもたちの元気な声が聞かれています。ウイルスは次々と変異して私たち人間の前に現れ、ウイルス対人間の戦いにも思えます。

私たちもですが、成長発達の真っ最中であることもたちにとって、コロナによる自粛は降って湧いたことでしょう。様々な人と接してコミュニケーションをとる事は相手の表情や声色により感情を読み取り、そして自分の感情をコントロールする方法を身に付ける1つの手段だと考えます。初めての公園デビューをはじめ、多様な経験・体験を成長過程の中に盛り込んでいく事は大切だと思います。

園行事も延期または中止が相次ぐ中で「できない」ではなく、「これならできるよ」と前向きに考えて「ピンチはチャンス」精神で過ごしていきたいと思います。そして、今だから出来る事・いつもと違う楽しみ方で思い出深い園生活になれば良いと思います。

こどもの成長に携わる私たちは感染を抑えて命を守ると同時に、今のコロナ禍でどのようにしたら園生活の中で経験値を上げ、友だちの大切さや生きる楽しさを感じてもらえるか、常に考えていきたいと思っています。

看護師 片桐 陽子



0歳児 はな組

つぶやきコーナー



普段はなかなか触ることが出来ない電話に興味津々な子どもたち。電話をこどもの前に出すと…  
こども:「プル、プル、プル(片言で)」  
保育者:「ももし、〇〇さんですか?」  
こども:「むにゃむにゃむにゃ(何かを言っている様子)」  
普段、大人がしている言動を真似ているように電話にでていました。観察力すごいですね。

# 生活にし組



思考力の芽生え

## —こどもの姿—

朝のおやつの前に自分でコップ袋からコップを出し、夕方自分でコップ袋に入れていきます。袋の口を開いてからコップを入れる。大人にとっては簡単なことですが、日々試行錯誤しながら片づけています。

## —保育者の思い—

自分で考えながらやってみる時間を大切にしています。入りそうでなかなか入らないこともあります。今日はどんな方法を考えるかな？と保育者はワクワクしています（こどもたちはいつでも真剣です）。日々の積み重ねから見られる成長が楽しみです。

# あそびゆき組

豊かな感性と表現



## —こどもの姿—

少しずつ言葉が出るようになり、普段保育者が歌っているうたも口ずさむようになってきました。また、雑壇の上に立ち保育者と一緒に歌い、歌い終わると「もう1回」と指を立て「ゆき組ミニコンサート」が始まります。

## —保育者の思い—

こどもたちと一緒に楽しく歌う時間を大切にしています。ゆき組の部屋だけではなく、他のクラスで披露する機会を増やし、他の部屋で歌う楽しさや聞いてもらう嬉しさを感じられるようにしています。

# 食事ほし組(わんげ)

自立心



## 「くーびたびん」とは？

くー：机とおなかの間はこぶし一つ分空けて座る  
びた：両足を床につけて座る  
びん：背筋をピンと伸ばして座る

## —こどもの姿—

くーびたびんの姿勢で食事をするできるようになっています。こども同士で「くーびたびんだよ」「足つけるんだよ」と声をかけ合う姿も見られます。また、お皿に手を添えて食べることもくり返し伝えることで身につけてきました。食事を楽しみながらも正しい食事のマナーについて話をすることでこどもたちも意識が高まっているようです。

## —保育者の思い—

食べこぼしや食器破損を減らすために、お皿に手を添えて食べること、両手で皿を持つことを伝えていきます。こどもたちもお皿に手を添えることで食べ終えたあとの机がきれいなことに気づき「こぼさずに食べられた」と嬉しそうです。

※ 一部の部分には、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を載せています。

10の姿とは…①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現 です。

# 工事現場の今

## ～新園舎ができるまでの道のり～

新園舎での生活をこどもも職員も楽しんでいます。9月上旬から、2期工事（ホール、玄関、子育て支援センター部分）が始まり、解体が進んでいます。



砂場建設中です。

こどもも職員も大きな工事車両に釘付けです。



今まで使っていた園舎が解体されるのは寂しいですが、もう一度建物ができていく過程を見られるのが楽しみです。

# コロナ禍でも楽しめる

## 小麦粉粘土 〈身近なもので粘土あそび〉



小麦粉に水を少量ずつ加えて、もみもみ。お好みで着色料・絵の具を加えると華やかになります。また、油・塩を加えると痛みにくくなります。雨の日やこのコロナ禍でのお家時間にいかがでしょうか。

# お家でできる「こんなあそび」

# 意外と知らない

## 保育園の裏側



各クラスや給食室の扉の窓にはクラスの名前にちなんだステンドグラスを設置しています。このステンドグラスは職員がデザインしたものです。形だけでなく、色もクラスカラーがベースとなっています。